

# 授業改善書

科目名	日本史学入門
担当者	福島良一

## 授業の概要

本授業は、近代日本が経験した主要な戦争を取り上げ、それらを取り巻く国際関係や国内状況などを検討していくことにより、戦争の発生要因や歴史的意義、あるいは戦争に対する指導者および国民の意識などを明らかにした。歴史を専門としない学生にもわかりやすいように、できるだけ具体的な事例を交えながら、戦争を通して日本近代史の特質を理解してもらえるように講義した。

## 授業の問題点

「授業についての評価」に関する各評価項目は 4.0 前後となっており、概ね好意的な評価をいただいた。ただ、本授業は全学共通科目ということで大人数が受講したこともあって、必ずしも日本史に興味を持っているわけではない受講学生が一定数存在していたようである。このことは対面授業の欠席や課題レポートの未提出が目立つ学生が散見されたことにも窺える。さらに、成績評価が「可」であった学生が受講者全体の 3 割を超える状況にあった。また、今年度については、コロナ禍という状況のなかで対面とオンラインによる課題レポートを組み合わせた授業を行ったこともあり、授業の進行が遅れることとなったために時間の余裕がなく、授業内容の理解を促進するための授業内小テストを実施できなかった。

## 学生の授業満足度

本授業に対する「学生の授業満足度」は授業の有益さの評価が 4.17、全体的な満足度評価が 3.93 であった。「学生による主な意見」では、「授業内容はとても面白かった」という好意的意見が見られたが、具体的な記述はないものの一部に授業内容を十分理解できていない学生がいたことは、授業満足度の評価点が 4.0 前後に留まったことにも反映されているように思われる。

## 授業改善の課題と方策

授業に対する評価を向上させるために、本授業については、特に日本史の知識を持たない学生の授業理解度を高めることが不可欠である。学生による授業評価を向上させる点から、授業への積極的な参加を促すべく、授業内小テストの活用によって学生の予習・復習の励行徹底を図るとともに、とりわけ授業内容を十分理解できていない受講者の興味を引き出すことに留意しつつ、一層丁寧でわかりやすい授業を展開していきたい。

## その他